

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕 おもな動き

【推計人口】 …… 4月

令和6年4月1日の推計人口 1,254,499 人
世帯数 556,491 世帯
参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317 人、
世帯数：558,230 世帯

1 推計人口

令和6年4月1日現在の推計人口は、1,254,499 人で、前月（1,260,748）に比べ 6,249 人の減少となった。

市部では、大村市（198）の1市で増加し、長崎市（△1,849）、佐世保市（△1,395）、五島市（△469）、島原市（△366）、対馬市（△308）などの13市で減少した。

郡部では、増加した町はなく、長与町（△221）、新上五島町（△222）、佐々町（△66）などの8町で減少した。

自然動態は、出生数 544 人、死亡数 1,765 人で 1,221 人の減少、社会動態は、転入者数 10,326 人（県内転入を含む）、転出者 15,354 人（県内転出を含む）で、5,028 人の減少となった。

2 世帯数

令和6年4月1日現在の世帯数は、556,491 世帯で前月（557,057）に比べ 566 世帯の減少となった。

（注）

・異動人口推計＝R2 国勢調査確定数＋住民基本台帳（転入、転出、出生、死亡）

【賃金・労働時間・雇用（30人以上）】 …… 2月

1人当たり現金給与総額 253,414 円
対前月比 1.1%減少
対前年同月比 4.8%増加

1 賃金

2月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は 253,414 円で、前月に比べ 1.1%減少し、前年同月に比べ 4.8%増加した。

現金給与総額を定期給与（きまって支給する給与）と特別給与（特別に支払われた給与）に分けると、定期給与は 251,477 円で、前月に比べ 0.5%増加し、前年同月に比べ 4.8%増加した。

特別給与額は 1,937 円で、前年同月に比べ、42 円減少した。

2 労働時間

2月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は 142.7 時間で、前月に比べ 1.8%増加し、前年同月に比べ 0.2%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は 131.9 時間で前月に比べ 1.9%増加し、前年同月と比べ、0.2%減少した。

所定外労働時間数は 10.8 時間で、前月に比べ 0.0%の同率、前年同月に比べ 0.0%の同率であった。

3 雇用

2月の常用労働者数は 220,221 人で、前月に比べ、0.3%減少し、前年同月に比べ 3.4%増加した。

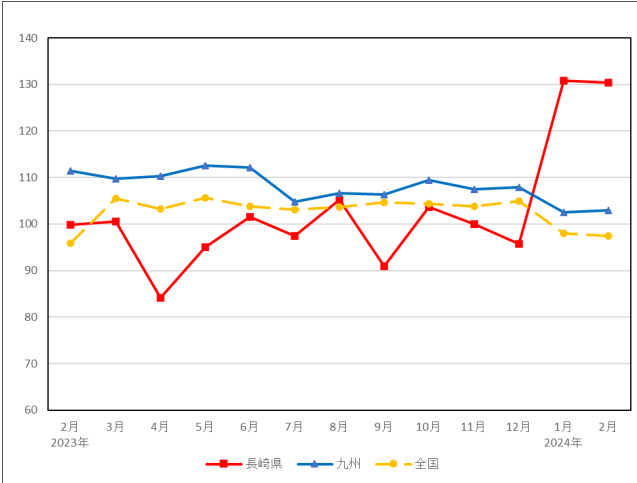
【鉦工業生産指数】 2月

令和6年2月の鉦工業生産指数

(2020年=100)

区 分	季 節 調整済 指 数	前月比 (%)	原 指 数	前年同 月比(%)
長崎県	130.4	△0.3	115.4	32.3
九 州	103.0	0.5	101.4	△5.4
全 国	97.4	△0.6	97.0	△3.9

鉦工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2024年2月の鉦工業生産指数は、季節調整済指数が130.4で対前月比は0.3%の低下、原指数は115.4で対前年同月比は32.3%の上昇となった。

業種別にみると、化学工業、輸送機械工業、情報通信機械工業など6業種が上昇し、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、鉄鋼業など7業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上 昇 に 寄 与 し た 主 な 品 目
化学工業	70.5	-
輸送機械工業	58.6	新造船
情報通信機械工業	14.7	-

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	低 下 に 寄 与 し た 主 な 品 目
電気機械工業	△ 38.0	交流電動機
電子部品・デバイス工業	△ 17.1	半導体集積回路
鉄鋼業	△ 16.5	-

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。
寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。
(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】 3月

総 合 指 数(R2=100) 107.3

対 前 月 比 0.3%上昇

対 前 年 同 月 比 3.0%上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、107.3で前月比0.3%の上昇であった。

主な上昇要因は「教養娯楽」が0.9%の上昇、「食料」が0.2%の上昇であり、主な下落要因は「保健・医療」が1.0%の下落、「住居」が0.2%の下落であった。

前年同月比は、11月は2.7%上昇、12月は2.7%上昇、1月は2.3%上昇、2月は3.4%上昇と推移した後、3月は3.0%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は106.8で前月比0.2%の上昇、前年同月比は3.0%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

家具・家事用品	1.5 %
被服及び履物	1.2 %
教 養 娯 楽	0.9 %
諸 雑 費	0.7 %
光 熱 ・ 水 道	0.4 %
食 料	0.2 %
交 通 ・ 通 信	0.2 %

同水準の費目

教 育	±0.0 %
-----	--------

下落した費目

保 健 医 療	△ 1.0 %
住 居	△ 0.2 %

【家計(長崎市・勤労者世帯)】 3月

消費支出(一世帯当たり) 345,895円

前 月 比 7,905円減少(△2.2%)

令和6年3月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は345,895円で、前月比2.2%の減少、前年同月比は9.3%の増加であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は88.5%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。